



避難訓練(火災想定)・消火訓練

11月20日(水)に、以下の目標のもと「避難訓練(火災想定)・消火訓練」を実施し、防災への意識が高まった1日となりました。

【目標】

- (1) 指示に従い、静かに、速やかに避難行動できる。
- (2) 避難方法、避難経路、避難場所を把握し、自ら避難行動できる。

「生徒の振り返り」から

2年

もし本当に火事になってしまったら、今日みたいに冷静な行動をして、正しい判断をすぐできるようにしたいと思った。

消火器の使い方はとても簡単で、誰でも使えそうだったけれど、いざとなった時に正しく使えるようにしていきたいと思った。

2年

今日は訓練であり、本当の火災ではなかったけれど、自分が本当の火災に出会ったら、消火訓練のことを思い出して、行動に移せるようにしたいと思いました。

2年

消火訓練を行って感じたことは、火事はいつ起こるかわからないから、今日教えてもらったことを行動に移せるようにしたいです。

2年

避難訓練は何回も行っているけれど、やはりもし自分の身にそういうことがあったと考えると、避難訓練は本当に役に立つと感じた。

2年

教室から逃げる時、素早く行動できた。命が助かるか助からないかは、1秒でも早く行動できるかにかかっているので、今日のように行動していきたいです。

2年

初期消火について、避難優先にするほど、自分がすぐ周りに火事を知らせることが大事だと思いました。今後は、大規模地震による津波避難訓練を行ってほしいです。

救命救急講座

全学年で「救命救急講座」を実施しました。講師を校長先生と七ヶ浜消防署員の方々に務めていただき、「心肺蘇生実習」「AED実習」等を体験しました。

生徒たちは、突然の病気で心臓が止まって倒れた人を見つけた時、救急車が到着するまで、その人の命をつなぎとめるための応急手当の方法等を真剣な態度で学びました。

この体験を通して学んだことを、いざというときの対応に活かしてほしいと思います。

「生徒の感想」から

3年

今回の救命救急講座を受けて、改めて心肺蘇生法の重要性を実感しました。実際に練習用の人形で行うのは初めてだったのですが、思ったより力が必要でした。また、正しい方法で行われなければ、救命率が下がるとも聞き、正しい知識と正しい方法を身につけることが大切だと思いました。心肺蘇生法を使う機会が来ないことが一番ですが、いざという時のためにしっかりと心にとめておきたいと思います。このような機会はめったにないので、今回経験することができて良かったです。

受賞・入賞おめでとう!

大会名	成績	団体（生徒）
JA 共済県小・中学生交通安全ポスターコンクール	金賞	
	銀賞	
第43回全国中学生人権作文コンテスト宮城県大会塩釜地区	優秀賞	
仙台地区中学校弁論大会	優秀賞	
第73回県下中学生弁論大会	奨励賞	
東北硬式空手道選手権大会 形 中学二年生の部	準優勝	
宮城県内選抜チーム交流大会（野球）	優勝	

12月の予定

2日(月) 定期考査Ⅲ	11日(水) 文化芸術子供育成推進事業（3年）
4日(水) 中央委員会	12日(木) 3学年行事
6日(金) 専門委員会	20日(金) 小中間交流あいさつ運動
7日(土) 開校記念日	23日(月) 全校集会
9日(月) 文化芸術子供育成推進事業（1年）	24日(火) 冬季休業日（～1/7）
10日(火) 文化芸術子供育成推進事業（2年）	27日(金) 閉庁日（～1/6）